作業手順書

場所:有限会社 北福海産

作業:海産物の加工

- ◆ (作業場への) 入場の手順・・・1~5
- ◆ (ベビーホタテ5kg×2)製品の梱包手順・・・6~9
- ◆ ホタテ貝殻破片取り作業の手順・・・10~11
- ◆ イワシのうろこ取り作業・・・12~13
- ◆ カゴ等、用具回収作業の手順・・・14
- ◆ カゴ等、用具洗浄作業の手順・・・15
- ◆ (作業場からの) 退場の手順・・・16~18

製 作 者: 障がい者就労支援事業所 株式会社 実

初版作成:平成29年3月7日 最終更新:平成29年3月18日

① 作業服の着用







支給された白のジャンパーとパンツ を着用する

※腕時計・アクセサリー・クリップ・ピン・ペン等、誤って食品に混入する可能性のある小物は持ち込まない

② 帽子の着用





支給された白い帽子を着用する

※帽子に付属している首周りの布は、 ジャンパーの中に入れ込む

③ 服装・健康・手指チェックの自己申告



壁に掛けられた、各地域ごとのバインダーに添付された『服装・健康・手指チェック自己申告表』に、その日の体調を記入する

※ O×印で記入する

服装チェック			健康チェック				手指チェック		
白い服 手 袋 マスク	清潔	装飾品	下痢	発熱	嘔吐	咳 鼻水	傷	化膿	荒れ

4 タイムカード





自分のカードをタイムカードレコー ダーの上部に差し込み、打刻する

※1ヶ月の前半/後半で青色/赤色に 分かれているので、日時を確認し て打刻する

⑤ 絆創膏(手に傷がある場合だけ)





手に傷を見つけた場合は、備え付け 絆創膏(キズテープ)を使用する

※使用済みの絆創膏はゴミ箱に捨てずに、備え付けの箱に入れる

⑥ マスクの着用





『OUT』と記載されている側を外側にし、マスクの丁度真ん中で折り目を付け立体的にする

※帽子の左右に付いている、丸型の 布にマスクのひもを引っ掛ける

⑦ 内履き(中ズック)





床を一段上がり、内履き(中ズック) を側面のくつ箱へ入れ、そのまま入 室する

※履き間違いを防ぐため、内履きに は、自分の名前を記入しておく

⑧ 長靴 (履き替え)





くつ箱にある自分の長靴を探し、一 段下がった床に、長靴を置いてから 履く

※履き間違いを防ぐため、名前を確認する

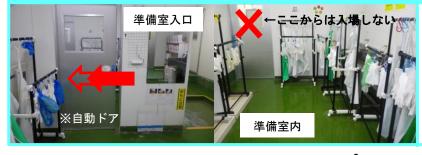
⑨ 粘着テープローラーかけ



備え付けの粘着テープローラーを使用し、頭 \rightarrow **肩** \rightarrow **背中** \rightarrow **腰** \rightarrow **胸** \rightarrow **腹** \rightarrow **両腕** \rightarrow **脇下** \rightarrow **太もも** \rightarrow **膝** の順で埃を取り除く

※壁に貼られた手本を見る

⑪ エプロンの着用



準備室に入室し、**S**字フックに掛けてある自分のエプロンを探し、元の洗い場に戻って着用する

※準備室奥のドアは、出口専用のため、入室しない

① エプロンの着用







エプロンのひもを頭上から被り、ひ もが背中でクロスするように着用す る

※エプロンの位置が合わない時は、 胸のひもの結び目で調整する

② エプロンの着用







腰周りのひもを背中側でクロスさせ、 エプロンでお尻がスッポリ隠れるよ うに重ね合わせ、お腹側で蝶々結び (リボン結び)をする

※エプロンの裾は引きずらない

③ 手洗い





流水で10秒間、手に付いた汚れを落 とす

- ※水道口に手をかざすと、自動的に 水が流れます
- ※手を遠ざけると、自動的に水が止 まります

14) 石鹸つけ



ハンドウォッシュポンプを2回プッシュし、泡石鹸を手の平に取って泡立てる

※泡の出が悪い時は、2回以上プッ シュする

⑤ 石鹸洗い



手の平 → **手の甲** → **指の間** → 爪 **の間** → **手首の順**で、隅々まで泡で洗う

※爪の間に汚れがないか確認する

- 3 -

16 すすぎ





流水で10秒間、手に付いた泡を落とす

※手に付いた泡が、完全に無くなるま で、すすぐ

⑪ 手拭き



備え付けのペーパータオルを、下方 向に引き抜いて、使用する

※手が濡れていると、消毒薬の殺菌 効果がない

18 手拭き





手に付いた水分を、充分に拭き取る

※使用済みのペーパータオルは、所定 のゴミ箱(紙用)に入れる

⑨ アルコール消毒





アルコール消毒ポンプを 1 回プッシュし、消毒薬を手の平に取る

※消毒薬の出が悪い時は、1回以上 プッシュする

20 アルコール消毒





手の平に取った消毒薬を、**手の平** → **手の甲** → **指の間** → **指先** → **手首の** 順で万遍なく、すり込む

※粘り気がなくなり、サラサラ感が出 るまで、すり込む

②1 長靴の消毒



洗い場横の通路にある消毒用プール を、長靴を履いたまま入り移動する

※消毒のため、両足で入る

② 手袋の着用



消毒用プールを出るとすぐの、左の棚にストックしてある作業用手袋をする

※サイズはSとMがあり、色は青色と半透明がある

② 作業場へ入場





階段を2段上ると自動でドアが開き、 作業場へと入場できます

※入口と出口は、それぞれ専用のド アです

② メインの作業場 (大) への入場





メインの作業場には、洗い場や作業 台があり、用具や各備品が備え付け てある

※この場から、各作業場 (中・小) へ移動する

★ペダル式水道の使用方法

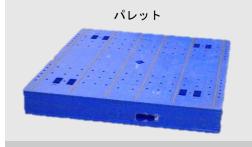


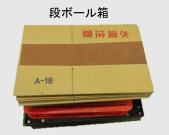
ペダル式水道使用方法

足元にあるペダルを踏むと、水が出ます

梱包作業の下準備 (用意するもの・準備すること)

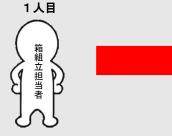
■ 使用する用具一覧







■ 作業の流れ (3人の分担作業で行います)









備品の確認と作業場の準備

- 1. 専用の段ボールを台車に載せ準備する
- 2. 作業動線に合わせて、配置する
- 3. 製品ダンボールに記載されている、サイズを確認する







- 4. サイズ別バンド表で、PPバ ンドの色を確認する
- 5. PPバンドをセットする (色間違いに注意する)

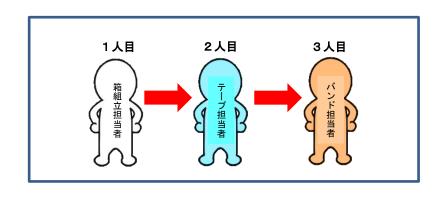
6. パレットを床に設置する











1人目の作業分担



段ボール箱の組立作業の手順

1. 箱を上下、逆さまにする

2. 箱の底部分を開く

3. 箱の底ぶたを閉じる



4. 底ぶたを抑えながら上下を 入れ替える



5. 箱の上ぶたを開いておく (製品を入れる準備)



6. コンベアーで運ばれてくる 製品を受け取る



7. 箱に製品を詰める

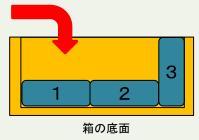


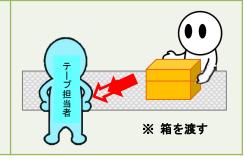
8. 平らに 2 個並べ、側面に 1 個を立てて詰める



9. 箱を次の担当者に渡す







2人目の作業分担

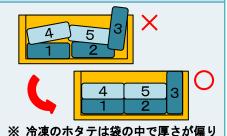


テープ貼り作業の手順

- 1. 箱に製品を、さらに 2 個詰 める
- 2. 底面に2個並べられた袋の上に、同様に並べる
- 3. 製品の厚さを均等に整え、 数を確認する(1kg×5個)







- 4. 箱のふたを閉じる
- 5.テープ貼り機に箱を通す
- 6. 自動で箱にテープが貼られ、 ローラーで移動する

箱のふたが閉じないことがある





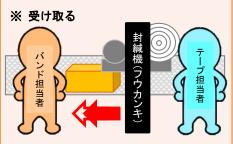


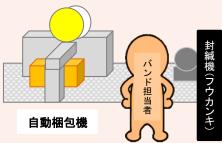
3人目の作業分担

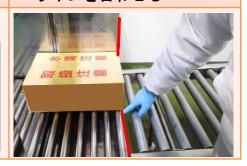


バンドかけ作業の手順

- 1. テープを貼り終えた箱を、 受け取る
- 2. 箱を自動梱包機へ移動し、 配置する
- 3. 自動梱包機の側面に、箱のラインを合わせる







バンドかけ作業の手順

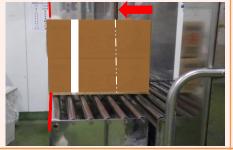
- 4. 同じ箱をもう一つ受取り、 上下 2 段重ねる
- 5. 自動梱包機のスタートボタ ンを押す(黒ボタン)
- 6. PPバンドを 1 ヶ所かける (ポリプロピレン製のバンド)







- 7. 2ヶ所目のPPパント゚位置を 確認して移動する
- 8. 自動梱包機のスタートボタンを再度押す(黒ボタン)
- 9. 2ヶ所目の位置にPPハンドを かける







- 10. PPバンドをかけた製品箱を パレットに積む
- 11. 箱の向きを確認しながら 規則正しく積み上げる

12. パレットの側面と正面では、箱の向きが異なる



	60/80	60/80		60/80		60/80	
	60/80	60/80		60/80		60/80	
	製品名		60/80 60/80		1	製品名	
	製品名				1	製品名	
	60/80	60/80		60/80		60/80	
	60/80	60/80		60/80		60/80	
パレット 側面							



- 13. 荷崩れしないように 5 段 積み上げる
- 14. 積み終えたら、フォークリフトで 荷物を移動してもらう
- 15. パレットを設置し、梱包作業を繰り返す







ホタテ貝殻破片取り作業の手順

ホタテ貝殻破片取り作業の下準備 (用意するもの・準備すること)

■ 使用する用具一覧







台車

■ 使用する用具一覧

プラスチック樽

ピンセット

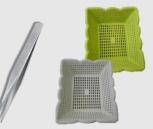
メッシュカゴ小

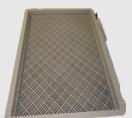
コンテナ平タイプ

メッシュコンテナ

ビニール (青・透明)





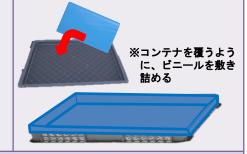






作業台の準備と用具の配置

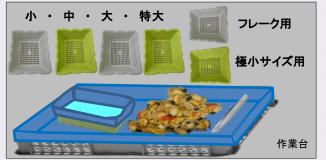
- 1. 作業台にコンテナ平タイプを乗せる
- 2. 作業台にメッシュカゴ小を 7個乗せる
- 3. ビニール(青色・透明)を、 コンテナ平タイプの上に敷く





- 4. メッシュカゴ小に、ビニー ルを敷き、水を入れる
- 5. 配置図を参考にして、作業台の上に各用具とホタテを配置する





- ①配置図のようにカゴ小 を、**白→緑→白→緑** の 順番で4つ並べる
- ②水の入ったカゴ小は、 コンテナの上に置く
- ③残ったカゴ小2個は、 作業台の空きスペース に配置する
- ④ピンセットを準備する 〇コンニナのカカにナク
- ⑤コンテナの中央にホタ テ(出来る量)を乗せる

ホタテ貝殻破片取り作業の手順

ホタテの貝殻破片取り作業の手順

- 1. ウロが取り除かれたホタテ の貝殻破片取りを行う
- 2. ホタテに付着している貝殻の破片を見つける
- 3. ホタテに付着している貝殻の破片をピンセットで取る







- 4. 角度を変えて確認したり、
 手触りで探す
- 5. ヒモとヒモの間に、破片が 隠れている場合もある

6. ピンセットで取った破片は、 水を溜めたカゴに入れる



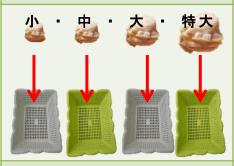




- 7. 貝殻を取り除いたホタテは、 メッシュカゴに入れる
- 8. サイズごとに選別し、カゴに入れる

9. カゴに入れる際にも、破片の有無を確認する







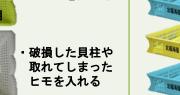
- 10. 規格外サイズと破損分を選別し、カゴに入れる
- 11. 作業し終えたら、サイズ 別にコンテナに入れる

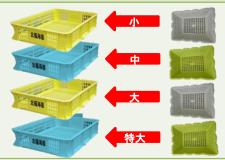
12. 白カゴは黄色コンテナへ、緑カゴは青色コンテナへ入れる



フレーク用

・規格外の極小 サイズを入れる

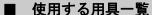






イワシのうろこ取り作業の手順

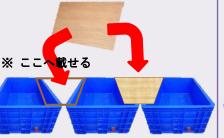
イワシのうろこ取り作業の下準備 (用意するもの・準備すること)



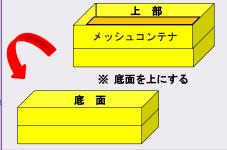


作業台の準備と用具の配置

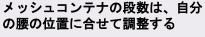
- 1. コンテナ特大を3つ並べ、 間にコンパネを載せる
- 2. コンテナ特大に、ホースで 海水を入れる
- 3. コンテナをひっくり返し、 重ね置きして土台にする

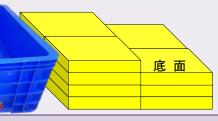


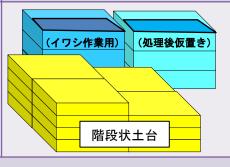
※ 3つにコンテナ特大に 海水は満杯に入れた後は、 海水を出したままにする

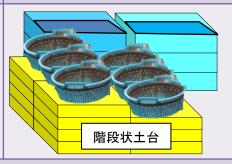


- 4. コンテナ特大の脇に、階段 状にして設置する
- 5. 作業台と処理後仮置き台を、 階段状土台脇に設置する
- 6. 手付きカゴを階段状土台に 3 個ずつ並べる









7. 作業台と用具の配置図



イワシのうろこ取り作業の手順

イワシのうろこ取り作業の手順

- 1. イワシをメッシュコンテナ に入れ台車で持って来る
- 2. イワシのコンテナを作業台に乗せる
- 3. うろこを取り除くため、イワシを揉む







作業台

イワシのうろこ取り担当

※ おがくずをまぶすことにより、うろこが取れやすくなる

- 4. 全体的に、よく揉む (1分~2分)
- 5. 揉み終えた処理済のカゴを、 仮置き台に乗せる
- 6. 再度、未処理イワシを作業台に乗せ、作業を繰り返す







(水洗い準備) イワシのカゴ入れ作業の手順

- 1. 仮置き台のイワシを、手付きカゴに入れる
- 両手でイワシを掴み、2回分、カゴに入れる
- 3. 空きカゴに、次々、イワシ 2回分の量を入れていく







- 4. カゴは、入れた順番通りに 洗い担当者側に移動させる
- 5. 作業の合間に、洗い担当者 から空力ゴを回収する

6. 回収してきたカゴを重ね置きし、カゴ入れ作業に戻る







カゴ等、用具回収作業の手順

カゴ等、用具洗浄作業の下準備 (用意するもの・準備すること)

回収後の廃棄用処理機

回収に使用する道具



回収する素材





貝殼処理機

回収する用具一覧

プラスチック樽 メッシュカゴ深型

メッシュカゴ小

コンテナ平タイプ

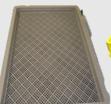
メッシュコンテナ

ビニール (青・透明)













カゴ等、用具回収作業の手順

1. 使用済みコンテナは台車を 使用して運ぶ

2. 赤いコンテナの数を目印に 使用済み用具を探す

3. 使用中か、使用済みかは、 コンテナ内を確認する



赤いコンテナが

- ■1段の時 使用済み
- ■2段の時 未使用、 もしくは、 使用中



- 5. 作業済みのホタテの貝殻が
- 北福海推 北福福度 北福海道

6. 回収してきた貝殻を、貝殻

処理機に入れる

- 4. リステナ洗浄室右側の特大 コンテナに入れる
 - リステナ洗浄室

入ったカゴを回収する

力ゴ等、用具洗浄作業の手順

カゴ等、用具洗浄作業の下準備 (用意するもの・準備すること)

■ 洗浄に使用する道具一覧



■ 洗浄する用具一覧



カゴ等、用具洗浄作業の手順

- 1. リステナ洗浄室で、用具の 洗浄を行う
 - リステナ洗浄室
- 4. 一度洗ったメッシュコンテナは、隣に移動する



2. 回収された用具を、右側の特大コンテナに浸す



5.隣の特大コンテナで、再度 メッシュコンテナを洗う



3. メッシュコンテナを、上下 左右に動かし、洗う



特大コンテナ(水槽)

6.網目に汚れが残っている場合は、ブラシも使用する



(作業場からの) 退場の手順

① 作業場からの退場



入り口の右隣にある出口から手動で 扉を開閉し、作業場から退場する

※自動ドアではないので、必ず手動 で扉は閉める

② 消毒室



消毒用プールやシャワー、ブラシ、 消毒スプレー等が設備されている

※ご自身の作業用エプロンや長靴の 汚れ具合に応じ、使用する

③ エプロンと長靴の洗浄



備え付けのシャワーを使用し、**エプ ロン** → **長靴** の順番で汚れを水で洗 い流す

※作業着が水に濡れないように、気をつける

④ 油汚れ用洗剤とブラシの使用

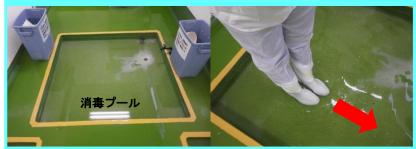




油汚れ用洗剤をブラシにスプレーで吹き付け、長靴を隅々までブラシがけをする

※イワシなど、魚貝類の油分(ぬめり)を取り除く

⑤ 長靴の消毒



洗い場横の通路にある消毒用プール を、長靴を履いたまま入り移動する

※消毒のため、両足で入る

(作業場からの) 退場の手順

⑥ エプロンの消毒



ポリバケツに入っている消毒薬を手 桶ですくい、エプロンにその消毒薬 をかける

- ※消毒プールの中に立った状態で行う
- ※赤マルの範囲を消毒する

⑦ 消毒室からの退出



消毒室の左奥にある出口から退出する る

※ドアは自動で開閉します

⑧ エプロンの保管



準備室に入室したら、ハンガーラックにエプロンを掛けて、退出する

※ハンガーラックに付いているS字 フックへ、エプロンのヒモを掛ける

9 洗い場への入室



エプロンを掛け終えたら、準備室から洗い場へと移動する

※ドアは自動で開閉します

⑩ 手袋とマスクの破棄



使用した手袋は、手袋用のゴミ箱へ 捨て、マスクは紙用のゴミ箱へ捨て る

※手袋用ゴミ箱は、フタを手で開け て使用する

(作業場からの) 退場の手順

① くつ箱に長靴を入れる



くつ箱に自分の長靴を入れ、洗い場から退出する

※トイレのため、一時的に作業場を 退場する場合は、そのまま床面に 仮置きしてもよい

(12) 内履き(中ズック) &タイムカード



【帰宅時】中ズックを履き、タイム カードを打刻する

※トイレや昼食時は、タイムカード の打刻は不必要

③ 作業着の着脱



通路にあるハンガーラック前で、作業着の着脱をする

※昼食やトイレなどの一時的な出入りの場合は、ハンガーラックに作業着を掛け、一時保管をする

(14) クリーニング



洗濯名簿							
番号	氏名	番号	氏名				
1	田	5	中村				
2	鈴木	6	今				
3	中田	7	太田				
4	木村	8	山内				

洗濯回収日の**月・水・金**は、洗濯名 簿に従い番号を記入し、各作業着に 添付して、回収袋に入れて帰宅する

※クリーニング済みの作業着は、棚から各 自回収する

⑤ トイレ



作業中、トイレを使用する際は、トイレの入口にあるハンガーラックに 作業着を掛け、使用する

※上履き (中ズック)は、黄色の線の 手前で脱いで置く